

大分県 作業療法士連盟NEWS

一つ一つの作業が
彩りとなる



作業療法活動での集団作品

【CONTENTS】

- ◆統一地方選挙2023 選挙応援 …P2~3
- ◆議員意見交換会 …P4
- ◆制度マイスター養成研修
議員視察 …P5
- ◆こんなところに作業療法士
議員勉強会 司法領域の作業療法 …P6
- ◆教えて！政治のあれこれ …P7
- ◆部員からのメッセージ
「まんが作業療法物語2」発売 …P8

発行：大分県作業療法士連盟

TEL：090-1360-8662

H P：<http://www.oita-otrenmei.com/>

Mail：ooitaotrenmei@yahoo.co.jp



大分県知事選挙(投開票：令和5年4月9日)

佐藤樹一郎 大分県知事誕生！



推薦状を交付



選挙応援の様子

目指せ！
健康寿命日本一
おおいた

当連盟は、大分県が取り組む「健康寿命日本一」を全面的に応援しています。佐藤県知事に期待します。
【男性】36位(71.54歳) ⇒ **1位(73.72歳)**
【女性】12位(75.38歳) ⇒ **4位(76.60歳)**
(平成28年調査) (令和3年調査)

大分市長選挙(投開票：令和5年4月9日)

足立信也 大分市長誕生！



大分市長選挙は、同市として72年ぶりの無投票で足立信也氏(立憲、国民、自民大分市連推薦)が初当選しました。

これから佐藤県知事とタッグを組んで頑張ってください！

足立信也氏は、医師として高齢者の自立支援のみに取り組むのではなく、大分市の少子化の現状対策を掲げるなど、すべての年代で、誇りある大分市の支援を行っています。



足立信也氏の功績と当連盟との関係

厚生労働政務官時代より、リハビリテーション専門職の職域拡大や、障がい者の自立支援・障害予防を常に訴え実現化してきました。身近なところでは、東九州メディカルバレー構想の実現にも尽力されていました。
当連盟は、設立前の2010年の参議院議員選挙より一貫して与野党関係なく足立氏を応援しています。
当連盟設立式典・10周年式典すべてにおいて足立氏に主賓として参加していただきました。



足立信也候補の応援演説

多くの国会議員や団体関係者が集まるなか、足立信也候補の応援演説を、長年関係のある「連合大分」と「大分県作業療法士連盟」の2団体が行いました。当連盟としては、大変名誉なことです。



当連盟設立時の様子(2012年) みんな若いですね

別府市長選挙(投開票：令和5年4月23日)

長野 恭紘 別府市長 3期目の当選を果たす！



別府市ホームページより

「生涯活躍のまち別府」長野市長は、全国で推進されているCCRC (Continuing Care Retirement Community) を早期から掲げ、様々な展開をされています。市長再選おめでとうございます。

推薦状交付の際、作業療法士の若者と意見交換したいと市長から要望をもらいました。ぜひ実現しましょう!! (集え!!別府の作業療法士)



推薦状交付



応援活動

別府市議会議員選挙 (投開票：令和5年4月23日)

森 裕二 市議会議員 塩手 悠太 市議会議員 祝初当選



森 裕二 候補 選挙初日、出陣の様子



塩手 悠太 候補 選挙に向けて衛藤大分市議会議員も交えて意見交換を行う



森 裕二 別府市議会議員



塩手 悠太 別府市議会議員

別府市は、リハビリテーション関連施設の多い地域です。議会を通じながら、しっかりと専門職の意見を地域に反映していきましょう。

大分県議会議員選挙 (投開票：令和5年4月9日) & 他地区の選挙

3期目の当選を果たす!!

森議員は、作業療法士が地域で活動している視察に多く参加されています。今後も活躍を期待しています。



森 誠一氏(豊後大野市)

会員の皆さん 協力ありがとうございました。

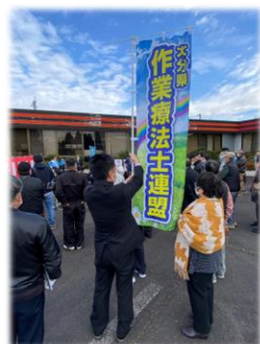
連携強化している各候補者の選挙応援



日田市長 候補 原田 啓介氏



大分県議会議員候補 吉竹 悟氏(竹田市)



大分県議会議員候補 小嶋 秀行氏(大分市)

衆議院議員選挙候補 衛藤 博昭 氏 (前 大分県議会議員)

開催日：令和5年10月11日 開催場所：大分県作業療法協会ビル



衛藤博昭氏は大分県議会議員を2期務められ、大分県の課題解決に取り組んできました。今回、活躍の場を国政へ変え、**衆議院議員選挙（大分1区）に立候補**することを表明しています。

意見交換会では、これまで県政でエネルギーや物価の高騰・頻発する自然災害や少子高齢化等の問題について取り組んできたことをわかりやすく説明してもらいました。とても柔らかい話し方の中にも、今まで行ってきた県政での自信が、力強い声に現れ、説得力がありました。

自身も、社会福祉法人の理事長を務めていることもあり、保健医療福祉等の作業療法士の活動についてもご存じですが、作業療法士が地元の大分県で取り組んでいる**自立支援**の現状等に非常に興味を示し質問をされていました。

高齢者の自立支援だけでなく、障がい者の就労支援や司法領域の支援についても意見交換しました。今後より一層、具体的意見交換を行い、大分から国政の場に議員を通じ意見できればと感じました。



意見交換後
推薦状を交付

森 裕二氏(別府市議会議員)

開催日：令和5年9月27日 開催場所：大分県作業療法協会ビル

意見交換会では、自身の政治秘書としての経験や議員になったきっかけ、現在取り組んでいる活動の内容、別府市が抱えている課題や、活かしていきたい別府の強み等々、ざっくばらんに和やかな雰囲気ながら具体的に語り合いました。初当選ではあるものの、議会質問等積極的に行っており、自身の足で出向き、自身の眼で確認し、当事者の視点に立って、真摯に考え意見する姿勢が感じられました。

また、作業療法士について「職域が広い職種なので、もっとアピールしてもいいのでは」等助言をいただきました。

体育会系で、あらゆる分野を調査・把握していて、適切に優先順位をつけ、フットワークの軽さを感じました。ご自身が空手家で、「スポーツを通して別府市民、そして大分県民の健康寿命の延伸に貢献していきたい」と話され、とても頼もしさを感じました。



塩手 悠太氏(別府市議会議員)

開催日：令和5年10月11日 開催場所：大分県作業療法協会ビル

塩手氏は、衆議院議員の秘書として政治を学び、先の別府市議会議員選挙で見事に当選を果たされました。

意見交換の中では、塩手氏の基本政策である①未来を担う子どもたちを安心・安全に育てられる環境づくり②平等な学びの場を整えて次世代が育ちやすい環境づくり③別府を支える現役世代が働きたいと思える環境づくり④いくつになっても満足感ある生活を送れる環境づくりについて熱く語られていました。その後、医療・福祉分野についての話になり、塩手氏も地域包括支援センターに足を運び現場の勉強をしながら、この分野が直面している課題などを肌で感じられていました。

塩手氏は、作業療法についても質問や意見を多くだされ、「作業療法への理解を深めたい」という姿勢を前面に押し出され、多くの意見が飛び交うとても有意義な時間を過ごすことができました。



第2回制度マイスター養成研修(応用編)

リモートで講演する宮崎氏

地域づくりと作業療法 ～幸福感をもたらす支援～

開催日：令和5年2月7日 開催方法：Web開催

講師：宮崎 宏興氏(特定非営利活動法人 いねいぶる 理事長)

障がい者を含むすべての人が暮らしやすい街づくりを目指しているNPO 法人「いねいぶる」の活動を実践されている宮崎氏に、現在展開している作業療法の実践について講演をしていただきました。

宮崎氏が行っている活動はおそらく医療や介護で働いている私たち作業療法士にとってとても刺激的な内容だったのですが、同時に「地域づくりに関わる作業療法をやってみたい」と感じた人たちも多かったのではないのでしょうか？

地域共生社会の実現に向けて、作業療法士が関わる役割は大きく、宮崎氏の姿は私たちにその一歩を踏み出せる勇気を与えるものだったと感じました。



第3回制度マイスター養成研修(応用編)

1日目

開催日：令和5年11月30日

開催方法：Web開催

講師：高森 聖人氏(公社)大分作業療法協会 会長

テーマ：戦後の福祉施策の変遷と社会福祉行政の役割・機能

- ・戦後の福祉制度の変遷
- ・措置制度から契約制度へ
- ・地方分権改革による地方公共団体の役割の変化
- ・福祉計画

2日目

開催日：令和5年12月13日

開催方法：Web開催

講師：高森 聖人氏(公社)大分作業療法協会 会長

テーマ：障害福祉サービスの概要と作業療法士のかかわり

- ・障害者自立支援法の概要と障がい者制度改革
- ・障害者総合支援法・児童福祉法に基づく障害福祉サービスの概要
- ・障害福祉領域における作業療法士の現状と課題



2日間を通して、障害福祉領域に関わる私達にとって、自分たちが行っているサービスがどのような法律の変遷のもとになっているのかを理解できました。そして、この領域に関わる作業療法士の可能性を感じ、障がい者が希望する地域生活の実現に少しでも寄与できるように頑張りたいと思いました。

議員視察

今回は大分市内の福祉作業所を視察しました！

視察先：就労サポート事業所 ミチテル (就労継続支援B型事業所)

視察日：令和5年8月29日

今回の議員視察には藤田敬治氏(大分市議会議員)、岩川義枝氏(同左)に参加していただきました。

視察では調理を行っている様子や電子機器の作成の様子などを見させていただき、利用者が生き生きと作業している姿がとても印象的でした。

意見交換では就労支援に携わるOTの人員不足、利用者の就労後の給与についてなど現場が抱える問題から、B型事業所から就労へつなげた事例の紹介、食事提供加算についての要望などたくさんの意見や話が飛び交い、有意義な時間となりました。

今回の視察により就労支援施設の現状を知っていただくことで、より行政との連携強化につながったのではないかと感じます。



藤田 敬治
大分市議会議員



岩川 義枝
大分市議会議員

地方公務員として働く作業療法士

市民の近くで行う作業療法！

プロフィール

氏名：国政 和子
 職場：日田市役所（平成29年～）
 ライフワーク「地域での障がい者支援」
 日楽灯会※1代表の羽野等さんと出会い
 「日田リハビリサミット」等共に企画運営

入職経緯

日田市役所職員の公募にともない、（公社）大分県作業療法協会の推薦を受け、任期付職員※2として着任。



国政 和子氏

Q. 市役所の仕事内容を教えてください。

障がい者が自分らしく地域で暮らせるための施策に関する仕事をしています。計画の策定や自立支援協議会の運営、農福連携、就労支援、個別避難計画支援、関係機関との協議・連携、個別の相談と対応など。常に人と話している感じの仕事が多いです。現在は日田市の基幹相談支援センターの担当として奮闘しています。

Q. 作業療法（OT）の経験が仕事に活かされていると感じますか？

もちろんです。25年のOTとしての経験、知識を全てフル活用しています、強いて言うなら、一番は「作業」の視点です。生活、生きることの全てが「作業」と捉えられるからこそ、OTが行政機関に入ることに迷いはありませんでした。あともう一つ「アセスメント力」。評価に始まり、評価に終わるといわれ続けたことが身につけていて、地域づくりも自然に評価、分析をしていますね。皆に驚かれますが。

Q. 後輩の皆に望むことを聞かせてください。

後輩の皆さんの中で一人でも、「OTとして」地方行政に入ってほしいです。町づくりの仕掛けに興味があればぜひ、地方行政へ。そんな想いのある人の後押しを、ぜひ大分県作業療法士連盟や大分県作業療法協会がやってほしいです。

私が学生時代、ある施設のリハ部門の技師長に「東京の学校で学んでいるのだったら、将来は厚生労働省に入ってほしい」と言われたことがあります。あの時は「なぜOTが行政機関に？」とわかりませんでした。その思いが理解できました。市民のすぐ近くで行う作業療法、やりがいがあって楽しいですよ！

※1「日楽灯会（ひらくとかい）」

日田市の脳疾患患者と家族の会。脳卒中当事者が社会参加実現の為に政策提言等意見交換を行っている。

※2「任期付職員」

専門的知識・経験が必要、または市民サービスの提供体制を充実させる場合等に即戦力のある地方公務員として任用する制度。



日田市基幹相談支援センター内の様子

議員勉強会

司法領域での作業療法

開催日：令和5年11月8日
 開催場所：藤華医療技術専門学校
 講師：釘宮 慎太郎氏(大分県作業療法士連盟 副会長)
 参加者：森 誠一氏(大分県議会議員)
 佐藤 昭夫氏(豊後大野市議会議員)
 吉竹 悟氏(前大分県議会議員)
 荒木氏(同連盟会長)、田中氏(同連盟副会長)



講師の釘宮氏



左から森氏、吉竹氏、佐藤氏

司法領域における作業療法士の活動について議員を対象とした勉強会を開催しました。現在、全国24カ所の刑事施設等の矯正施設で54名の作業療法士が活動しています（2021年10月時点）。作業療法士にとってまだまだ歴史の浅い領域ですが、全国的にも作業療法士の配置・活用が始まっている領域でもあります。刑務所等の矯正施設の受刑者の中には、多くの発達障害者が存在し、彼らに対し作業療法士は作業を通じて受刑者の自己表現能力や問題解決能力などを向上させることが期待されています。矯正施設での作業療法士の支援内容は、精神行動特性や身体機能・認知機能の評価、高齢受刑者に対する機能向上作業、就労・社会復帰指導、発達障害・知的障害者に対する認知機能トレーニングなど矯正施設の特徴に応じて多岐に渡ります。

今回の勉強会の中では、議員から大分県内の司法領域の現状など詳しく話を聞くこともできました。「作業療法士の司法現場での認知度を向上させること」や「矯正施設職員との歩み寄りの重要性」など司法領域での作業療法士の活動を行っていくにあたっての重要な視点について改めて考える機会となりました。

2022年には日本司法作業療法学会が設立され、2023年には第1回日本司法作業療法学会が開催され、大分県でも司法領域における作業療法士の活躍の場が広がることを期待します。

今さら聞けない選挙運動の仕方～ネット選挙編～

これまで選挙に縁がなかった若年層が興味を持つきっかけになるネット選挙

【ネット選挙のメリット】

- ・時間や場所に制限されずに情報を発信できる
- ・デマや誹謗中傷に対して自身のブログやSNS上で反論できる
- ・ポスターの印刷代やハガキ郵送費などの選挙費用を削減できる

【ネット選挙のデメリット】

- ・誹謗中傷やデマが拡散される恐れがある
- ・セキュリティ対策が甘いと重要な情報が漏れるリスクがある
- ・ネット選挙でできる行為を理解しておかないと罰則を科せられる

ルールを守って参加しよう！

これらの禁止行為は処罰の対象となります！

選挙運動の方法等に関する規制（例）

- 18歳未満の選挙運動はダメ！
 - HPや電子メール等を印刷・頒布してはダメ！
 - 選挙運動期間外に選挙運動をしてはダメ！※1
- 【**誹謗中傷・なりすまし等に関する刑罰（例）**】
- 候補者に関し虚偽事項を公開してはダメ！
 - 候補者等のウェブサイトを改ざんしてはダメ！

※1選挙運動は公示・告示日から投票日の前日までしか行うことができませんのでご注意ください

下のルール(赤字)を守って候補者を応援してみましょう

有権者
このたびの選挙では、〇〇さんを当選させよう。

候補者
私に清き一票を！

政党等
〇〇党へ投票してください！

電子メール
△△花子(△△△@△△.ne.jp)
このたびの選挙では是非〇〇さんを当選させよう。

ウェブサイト等
ホームページ・ブログ・SNS(ツイッター・フェイスブック等) 動画共有サービス・動画中継サイト等
△△花子(△△△@△△.ne.jp) 〇〇太郎(〇〇〇@〇〇.ne.jp)
このたびの選挙では是非〇〇さんを当選させよう。 私は、このたびの選挙に出馬しました〇〇太郎です。 清き一票をお願いします。

電子メール
〇〇太郎(〇〇〇@〇〇.ne.jp)
私は、このたびの選挙に出馬しました〇〇太郎です。 清き一票をお願いします。

※氏名、電子メールアドレス等の表示義務
※一定の記録の保存義務
自らアドレスを通知し、受信に同意した相手等送信先には一定の制限があります。

有権者

政治家になるには？～市町村議会議員

○市町村議会議員とは？

住民にとって最も身近で、地域の問題について解決策を考え実践する仕事です。住民の声を集めるために地域の集会や祭りに積極的に参加し、ときには街頭演説や講演会を行って自身の政策に対する考えや議案を住民に伝えたりします。

○市町村議会議員の仕事は？

住民の声を聞き、より良い街づくりのために条例や予算を見直し決定していきます。議会は一般的に3・6・9・12月の年4回開催される定例議会と、必要に応じて召集される臨時会と2種類あり、この議会で他の議員、あるいは自分が提案した議題や法案について審議し議決を行います。

○兼業で勤めてもいいの？

基本的には専業で市町村議会議員を務めることが多いです。しかし人によっては農業や経営と兼業で行っている人もいます。

政治家になるには、「世のため」「人のため」と法律や制度など世の中の仕組みをより良くしたいという情熱を持つことは重要だと思います。まずは、住民にとって最も身近で、地域の問題の解決策を考え実践する市町村議会議員をチェックしてみてください

○市町村議会議員になるには？

市町村議会議員になるためには下記の2つの条件を満たしていることで出馬することが出来ます。

- 満25歳以上の日本国民であること
 - 3ヶ月以上立候補する地域内に住んでいること
- ※この2つの条件とは別に一時的に預けるお金として**供託金**を支払わなければいけません。当選する意思のない人が、自分の名を売りたいなどのために無責任に立候補するのを防ぐ仕組みです。

ちなみに！
大分市議会議員選挙の供託金は？
30万円 ※ある一定の得票数がないと返還されず没収されます

○市町村議会議員の給料は？

やはり生活がありますから、**給料の額**は重要です。これを知らずに「議員になりたい！」とはいかないですね。

ちなみに！
大分県下でも各市によって市町村議会議員の給料(報酬)は異なります

月額**18万円～64万円**

菊池 由加理(女性政治参画推進部)

今こそ、女性が活躍しなくっちゃ！



菊池 由加理氏

女性が政治に参画することは、女性が重視する傾向にある社会課題だけでなく、女性を含めた少数派の課題として捉えられがちな社会課題に対しても焦点があてられます。その結果、社会全体にとってポジティブな影響が生じることに繋がると考えています。全国的な作業療法士の男女比においても、半数以上が女性です。また、作業療法士として活躍されている年齢は20歳代後半～30歳代前半が最も多く、この時期は結婚や子育て、キャリアアップに向けた自己研鑽など、働く女性作業療法士は日ごろの業務だけでなくプライベートも忙しくなる時期だと思えます。私自身、子育てをしながらの勤務に疲弊することも多く、「自分が働きやすい環境を作るにはどのような制度があるといいか？」と、日々考えながら活動を行っています。

私が勤務している障害福祉施設(就労サポート事業所ミチテル：就労継続支援B型事業所)は、大分県では作業療法士がまだまだ少ない分野ですが、これも含めて女性作業療法士が生き生きと働ける環境ができるように活動していきたいと思えます。この活動に興味のある方はぜひご連絡ください。

「まんが作業療法物語2」販売のご案内

ご好評につき、第2弾を販売いたします！



まんが 作業療法物語2

その人らしい地域生活を支援します！

人々が集い交流する場

「生きがい」と「やりがい」

自立した生活を目指す

公益社団法人 大分県作業療法協会



まずはサンプルから！

QRコードから申込ページに移ると、サンプルを確認することができます。

【もくじ】

- ①生活行為向上マネジメント編
- ②地域生活を支える作業療法（子ども編）
- ③知的障害のある人の地域生活支援編
- ④地域生活を支える作業療法（就労編）
- ⑤地域生活を支える作業療法（認知症編）
- ⑥おっぴーワンポイント講座①
「作業療法士になるにはどうしたらいいの？」
- ⑦内部障害に対する在宅支援編
- ⑧パワーアップ教室編
- ⑨コロナ禍における高齢者フレイル予防編
- ⑩災害リハビリテーション支援編
- ⑪おっぴーワンポイント講座②
「作業療法士はどんなところで働いているの？」

この1冊で、作業療法を楽しく読んで楽しく学べる！

読んで！ 作業療法

生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメントの流れ

① 今のあなたが「したいこと」「してみたいこと」を整理しよう！

あなたの「したいこと」「してみたいこと」を整理しよう！

体験してみよう！

あなたの場合

みんなの場合(例)

サンプル

過去の「大分県作業療法士連盟NEWS」が閲覧・ダウンロードできます

大分県作業療法士連盟のホームページ(<http://www.oita-otrenmei.com/renmeinews.html>)からアクセス！同連盟の過去の活動を知ることができる貴重な資料です。ぜひ、ご覧ください。